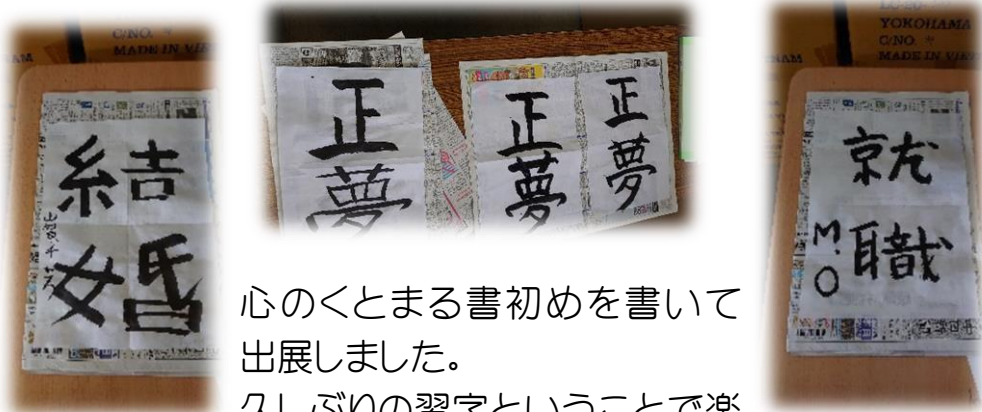


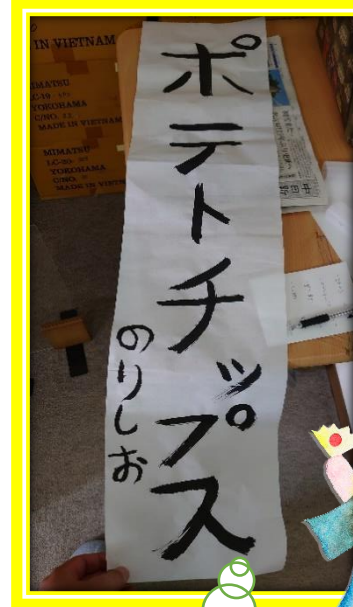
就労移行支援事業

『書道楽しまんかなコンクール』

【ナイスで賞】を頂きました！



心のくとまる書初めを書いて出展しました。久しぶりの習字ということで楽しい時間を過ごせました。



お昼に食べていたおやつで思いついたみたいです(笑)

おめでとうございます！

『新メンバーのご紹介』

今年度は新たに支援学校を卒業された2名を迎え、スタートしました。社会人1年目ということで、それぞれの抱負を紹介します。



私は将来『誰からも信頼されるような大人』になるのが夢です。そのために、挨拶をしっかりする、時間を守るなど、当たり前のことをできるようにしたいです。さらに、仕事場だけではなく、プライベートでも自分から動いて家族を助けていきたいです。 O・M



社会人になって厳しいこともありますが、努力をして働く力を身に付けたいです。仕事には集中して、自信をもって最後まで頑張ります。 N・Y

就労継続支援B型事業

～新しいメンバーが加わりました！～

この春支援学校を卒業し、青空作業所を利用することになりました！これからよろしくお願いします！



就労継続支援B型での意気込みを聞きました！

ウェルコミュニティ飛騨青空作業所で頑張りたいことは、作業中は私語をせず、集中して作業に取り組むことです。

私は、たまに集中できないことがあるので周りにつられず、自分の仕事に集中できるようにしたいです。

これからよろしくお願いします！



～自主製品を販売しました！～

＜販売に行ってくれたメンバーさんに感想を聞きました！＞

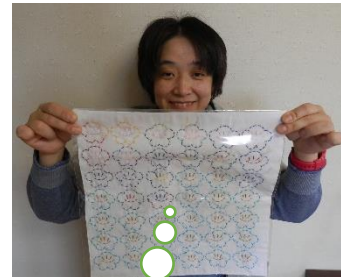
福祉の店 in 高山市役所

3月26日に市役所で開催された福祉の店で自主製品を販売してきました。

手作りのマスクや刺子製品、リサイクル石鹸、ポップコーン等を販売し、多くの方に買っていただきました。また、今回は新しく刺繍入りバックを販売し、とても好評でした。お客様から「こんな柄のマスクやバッグが欲しい！」とたくさんのリクエストをいただきました。

今後もお客様が「買いたい！」と思う自主製品を作っていきます！お楽しみに！

お花の刺繍が人気で嬉しかったです。今度は刺繍入りの弁当袋を作りたいです！



知り合いに会えて嬉しかったです！

多くの方に喜んでもらえて嬉しかったです！



○お願い○

消毒する際に使用する布が不足しています。いらなくなったバスタオルやフェイスタオル、手ぬぐいがあれば、お譲り頂けるとありがたいです。新品、使用済みどちらでも構いません。ご協力の程よろしくお願いします。



BCP 策定

BCPと言われてもピンとくる方は少ないと思います。BCPとは Business Continuity Plan の略称でビー・シー・ピーと呼ばれ、日本語では業務継続計画などと訳されます。昨年より猛威を振るう新型コロナウイルス感染症に対応するため国から BCP を作成するよう通達 がきています。

障害福祉サービスは、利用者、家族等の生活を支える上で欠かせないものであり、緊急事態宣言などの制限下であっても、感染防止対策等の徹底を前提とした継続的なサービスの提供が必要と考えます。そのためには、業務継続に向けた計画の策定が重要であるため、早速 BCP 策定に取り掛かりました。

体制の整備・担当者の決定、連絡先の整理、緊急時対応を想定した訓練・研修の準備、必要な物資の整理、緊急時の職員確保、業務優先順位の整理など上げればキリがなく、ともすれば気持ちが折れそうになりますが、完璧な物を作るのではなく、定期的に見直しを進めながらより良い物にしていこうと思います。

文責 井端



これからの就労継続支援 B 型のあり方を考える

度々本紙面において取り上げてきました本年度の就労系事業の報酬改定については、様々な団体等の声が反映されました。その中で就労継続支援 B 型の報酬は、基本報酬が平均工賃月額に応じて評価される体系に加えて、利用者の就労や生産活動等への参加等をもって一律に評価する体系が新たに設けられました。

この改定の背景には、平均工賃額を引き下げる要因となる月の利用日数が少ない利用者にも対応している B 型事業所の実情を考慮したこと、65 歳以上の利用者が 1 割弱まで増えてきており、今後益々高齢の利用者が増加していくこと等があります。世間一般の流れとして多様な働き方が求められている中で、これまでのように工賃向上を目指すだけでは障がい者の多様な働くニーズに応えていくことが難しいと考えた結果であると思います。

今後の就労継続支援 B 型のあり方を考えていくうえでのキーワードは、「多様な働き方」であると思います。障がいのある方一人ひとりの多様なニーズに応えられる働き方を提供出来るのは唯一就労継続支援 B 型であり、私たちがこのことを理解して事業を展開していくことが自事業所の存在価値を高めていくことに繋がると考えます。

文責 柏木

青空通信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛騨 青空作業所
高山市山口町 1297-1 0577-35-1559
<https://www.welcom-aozora.com/>
令和3年 4月 8日発行 第48号



福祉教育について

理事長 柏木 真司

三寒四温を繰り返し、この飛騨にも心待ちの春がやって参りました。日頃よりウェルコミュニティ飛騨 青空作業所の活動に対しご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

先日、同性婚を認める裁判所の判決がおりたとの報道がありました。2019年には、優生保護法により障がいを理由に避妊手術を受けた被害者への謝罪と一時金支給を盛り込んだ救済法が成立しました。何れも今の時代では多くの人が納得し、共感できる事案だと思います。しかし一昔前であればどうだったでしょうか。「同性が結婚するなんて倫理に反する」だとか、「障がい者が子供を生んで育てるのは無理だ」といった声があがったのではないのでしょうか。要するに人の価値観や考え方はその時代の教育や社会背景によって変化するということです。

命の大切さ、平等や人権といった人の尊厳に関することは、教育や社会背景によって変化するものではなく普遍でなければなりません。しかしこのことを教師が教科書に沿って子供たちに教えることは困難です。小中学生の頃から障がい者、トランスジェンダーと常日頃からふれあい、対話する機会を作り、多様な生き方を受容できる人格を形成することが大切であると思います。これが福祉教育の最大の目的ではないのでしょうか。人はそれぞれ違って当たり前であり、自分と違った人を攻撃、排除するのではなく、共に生きていく中で人として成長できることを子供たちに学んでもらいたいです。

